



Kazuhiro Ishide

1946年北海道芦別市生まれ。大手ビール会社に入社、中堅青年海外派遣事業の研修で渡米した米国の建築に刺激を受け、日本の伝統建築を学ぼうと帰国。1973年藤田工務店入社、宮大工の技術を学ぶ。1989年一級建築士事務所アトリエアム(株)を設立し伝統住宅、茶室など多数の作品を発表。1996年林野庁の支援を受け国産木材を活用した産地直送の住宅供給システム、HOPハウジングオペレーションアーキテクト(株)を設立。

2014年度 北海道地区代表

ハウジングオペレーションアーキテクト株式会社

代表取締役社長

石出 和博

064-0824 北海道札幌市中央区北4条西21丁目2-1

<http://www.hophouse.co.jp/>

『森を建てよう』 日本の美しい環境創りに貢献。 『建築家が創るHOPデザイン』

▶ 起業に至った動機

ビール会社勤務時代26歳の時、北海道中堅青年海外派遣事業でアメリカに研修で渡るチャンスを得る。

当時のアメリカの豊かな生活と整備された環境に驚きと憧れを抱いた。そんな研修の合間、建築設計事務所の社長宅にお世話になる機会を得る。その社長の事務所入口のホールに掲げられていた日本の五重塔の写真を見せられ、日本の伝統、木組みの素晴らしさは世界一と聞かされた。その感動的な出来事が私の運命を大きく変えることになった。その後大学で建築を学び直し宮大工の会社に就職、古建築を学び独立を決意する。

▶ 事業の概要について

当社は、「森を建てよう」を旗印にし、木材の確保から製材加工プレカットまでの流通ネットワークを確立し、注文住宅の設計・施工を事業としており、北海道全域及び首都圏を中心に事業活動を行っている。当社の最大の特徴はそれまで使われてこなかった北海道のカラマツ人工林を活用する特殊技術を開発し、原木の確保から製材、流通、設計、建築までを網羅した独自の住宅供給システム(HOP)を確立した点にある。当社が供給する住宅で使用する木材は全て国産材であり、優れたデザインを中心に置き、工法の革新、職人および伝統技術を見直し、全てにおいて本物で美しい日本の住まいづくりを実践している。そして木材資源を利用する一方で植樹(森をつくる)事業を展開し、美しい環境の保全の為に資源循環型社会の構築を目指している。

▶ 今後のビジョンについて

住宅の設計、建築だけに止まらず、新しい住文化や住生活の提案、さらには環境保全のための取り組みを実践し、美しい日本の住まいと環境づくりのために、住宅産業のあり方を率先して具現化することを基本理念としている。お客様の人生観を形にし、お客様の幸せを形にする、その喜びの拡大の輪が次のお客様を生み出す。HOPは「人を幸せにする人が幸せになる」という企業理念を元に、この供給システムを全国に広げていきたい。

HOPの家
® 森を建てよう。